

⑨ 五反田川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積：7.25km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

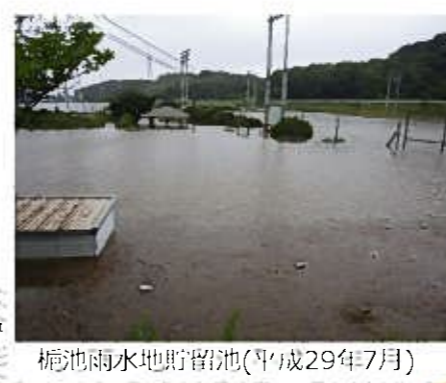
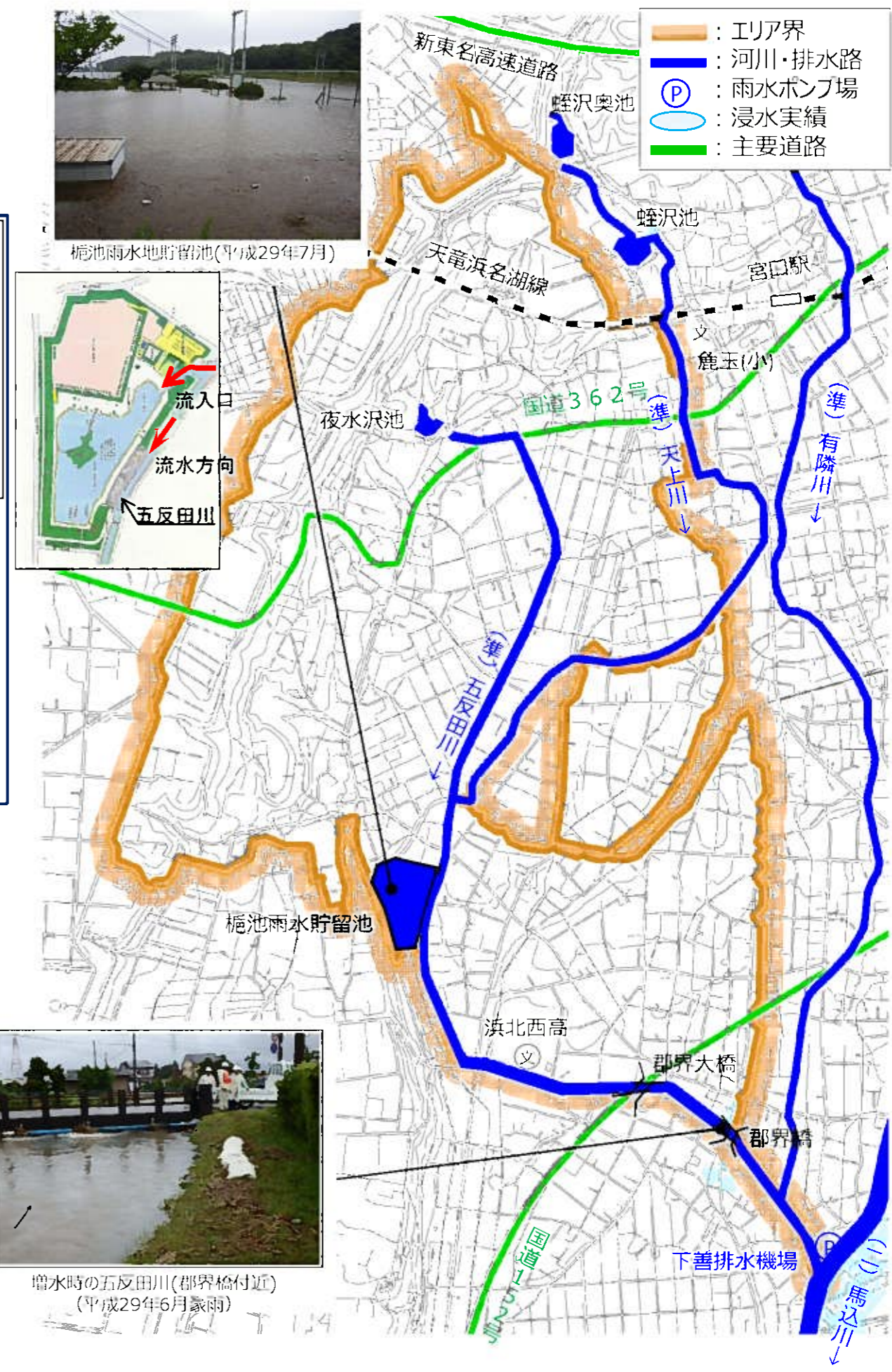
- 浜北区の西側に位置し、北から南へ準用河川五反田川が流れ、支川の天上川・有隣川と合流し、二級河川馬込川へ合流している。
- 五反田川は、郡界大橋より下流では、築堤区間であるため堤防が決壊する危険性を有している。
- エリア全体が市街化調整区域であり、農地の中に宅地が点在する地域となっている。
- 主要な交通網として国道152号や国道362号が通り、エリアの北側に天竜浜名湖鉄道が通っている。

【排水施設の整備状況】

- 中上流部には、雨水を一時的に貯留する「梶池雨水貯留池」を整備している。
- 五反田川は過去、農業用排水路として整備し、現在は準用河川として管理している。

【浸水被害】

- 平成29年6月の降雨では、五反田川の郡界橋上流で堤防からの越水により、床下浸水1戸が発生した。
- 平成26年10月の降雨では、五反田川と馬込川合流点付近の築堤部で越水が発生した。
- 隣接する有隣川エリアでは、馬込川合流点付近において、浸水が発生した。



浸水原因

- 馬込川と五反田川は流下能力が不足しており、降雨時に水位が上昇しやすい。
- 馬込川に接続する五反田川は、馬込川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる。
- 五反田川に接続する排水路等は、五反田川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる。
- 五反田川の中上流域の地形は急勾配になっており、降った雨が川へ急激に流れ込みやすい地形になっている。



<対策目標> 年超過確率1/3規模の降雨（時間雨量50mm）に対し、浸水被害を軽減する

<五反田川エリアの対策>

水を流す	五反田川下流部の堤防嵩上げ、梶池雨水貯留池の効果的な活用、不要となった堰の撤去、排水路・側溝の改良、準用河川及び排水路の維持管理、馬込川の改修
水を貯める	梶池雨水貯留池の効果的な活用
川を知る	水害ハザードマップの周知・活用、河川カメラ・水位計の情報提供

河川カメラ・水位計の情報提供（市・土木部）



ホームページ上でリアルタイムの情報（河川水位、雨量等）提供を行います。

浜松市土木防災情報システム

水害ハザードマップの周知・活用（市・危機管理監、土木部、上下水道部）

浸水が想定される区域などの情報を提供し、避難行動に繋がります。

五反田川堤防嵩上げ部の維持管理（市・土木部）

局所的に堤防が低い箇所を実施した嵩上げ部について、適切な維持管理を行います。



排水路・側溝の改良（市・土木部）

排水路・側溝の部分的な排水不良を改良し、河川までの水の流れを円滑にします。

五反田川下流部の暫定整備（市・土木部）

五反田川の将来的な改修計画を策定し、馬込川の整備状況を踏まえた暫定整備を検討・実施します。

準用河川及び排水路の維持管理（市・土木部）

準用河川及び排水路の適正な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

馬込川の改修（県）

五反田川合流点まで馬込川を改修し、流下能力を高めます。

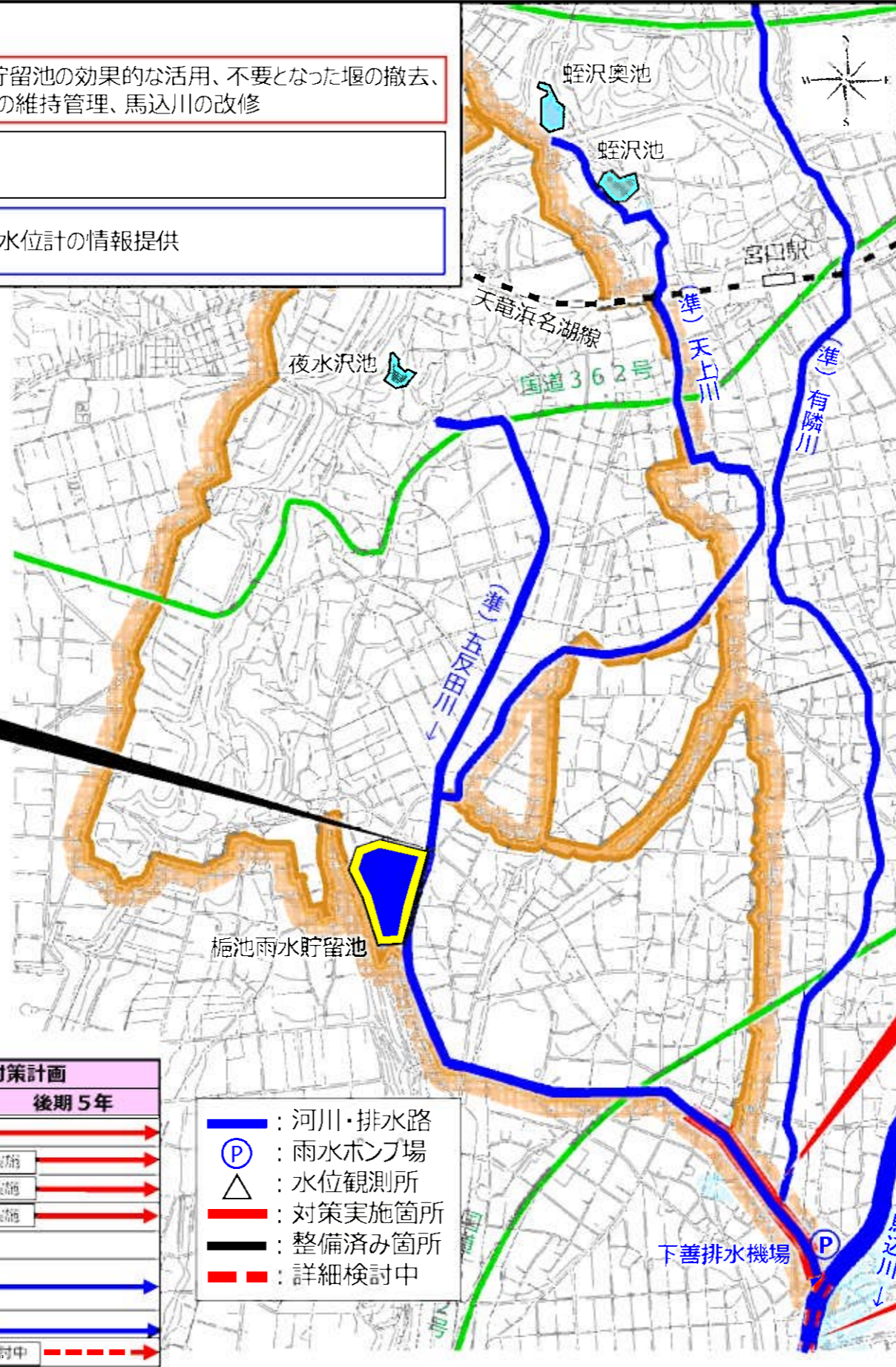
不要となった堰の撤去（市・土木部）

水の流れを円滑にするよう、使われていない堰を撤去しました



梶池雨水貯留池の効果的な活用（市・土木部）

降雨時により効果的な雨水貯留ができるよう、一部改良した梶池の整備効果をモニタリングします。

対策のスケジュール

項目	担当機関	総合雨水対策計画	
		前期5年	後期5年
五反田川下流部の暫定整備	土木部	→	→
排水路・側溝の改良	土木部	→	→
五反田川堤防嵩上げ部の維持管理	土木部	→	→
準用河川及び排水路の維持管理	土木部	→	→
梶池雨水貯留池の効果的な活用	土木部	→	→
水害ハザードマップの周知・活用	危機管理監	→	→
河川カメラ・水位計の情報提供	土木部	→	→
馬込川の改修	浜松土木事務所	→	→

- : 河川・排水路
- (P) : 雨水ポンプ場
- △ : 水位観測所
- : 対策実施箇所
- : 整備済み箇所
- : 詳細検討中

⑩ 寺脇西エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積3.34km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 南区の沿岸部に位置し、二級河川馬込川と芳川に挟まれた低い土地が広がっており、なかでも周囲より相対的に低い土地に水が集まり易い地形となっている。
- エリア北部はほぼ宅地化しており、南部では優良農地が残るが、宅地化が進行している。

【排水施設の整備状況】

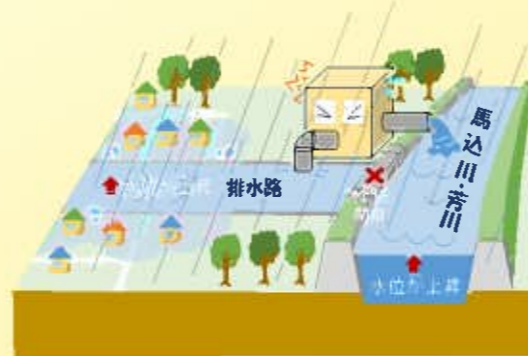
- エリア内は農業目的の排水機場及び用排水路が面的に整備をしている。
- エリア東側には雨水対策として三島都市下水路を整備している。
- 馬込川・芳川への排水は、河川水位が高く自然排水が出来ない場合、排水機場からポンプにより強制的に排水している。

【浸水被害】

- 令和元年7月の豪雨では、浸水により床上浸水1戸、床下浸水6戸の家屋被害が発生した。
- 昭和52年豪雨では広く農地が湛水し、農業被害が多く発生した。

浸水原因

- エリア内の標高が低く、低平地のため降った雨が流れにくい状況にある。
- 潮位の影響を受けやすく、満潮時には排水路から馬込川・芳川への自然排水に影響することがある。
- 農業目的で整備された排水施設は、水田にある程度水が溜まることを許容した能力で施設整備がされている。
- 寺脇排水機場・中田島排水機場では、近年の突発的な集中豪雨に対する対応が困難になってきている可能性がある。
- 用排水路では、降雨時にも用水が貯められていると雨水を適切に排水できない場合がある。
- 排水路が合流する箇所では、水がうまく合流することができず、一方の水路側に溜まっている可能性がある。
- 近年、農地の宅地化により、エリア内の保水能力が低下し、雨水の流出量が増加している。



<対策目標> 年超過確率1/10年規模の降雨（時間雨量66mm）に対し、浸水被害を軽減する

<寺脇西エリアの対策>

水を流す	排水機場の管理体制強化、農業施設の能力検証、排水路・側溝の改良、排水路の維持管理、農業用水の維持管理、馬込川・芳川の改修
水を貯める	公園、校庭貯留の促進、開発許可制度の見直し
川を知る	水害ハザードマップの周知・活用、土のうステーションの設置



開発許可制度の見直し (市・都市整備部)

郊外地における保全と開発のあり方について検討し、必要に応じて区域・用途等基準を見直します。

公園、校庭貯留の促進 (市・土木部、学校教育部、都市整備部)

公園や小・中学校の施設更新に合わせて、校庭等に雨水を貯留し、川へ流れ込む水の量を減らします。
※対策箇所は検討中

校庭貯留のイメージ

土のうステーションの設置 (市・土木部)

土のうステーションを整備し、住民自らが土のうによる浸水対策を実施することで、被害軽減を図ります。

水害ハザードマップの周知・活用 (市・危機管理監、土木部、上下水道部)

浸水が想定される区域などの情報を提供し、避難行動に繋がります。

排水路・側溝の改良 (市・土木部)

排水路・側溝の部分的な排水不良を改良して、河川までの水の流れを円滑にします。

排水路の維持管理 (市・土木部)

排水路の適正な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

農業用水の維持管理 (市・産業部)

用排水路として使用している水路において、大雨が予想される際、事前に用水の導水停止や堰を撤去するなど、適正な維持管理を行い、流下能力の確保に努めます。

排水機場の管理体制強化 (市・産業部、県)

遠隔監視、遠隔制御システムの導入や運転マニュアルの見直しを行い、排水機場の運転における労力の軽減、初動の強化を図ります。

農業施設の能力検証 (市・産業部、県)

現在の土地利用状況を踏まえ、排水機場等の能力検証を行い、施設整備の必要性を検討します。

馬込川・芳川の改修 (県)

馬込川・芳川を河川改修し、流下能力を高めます。

対策のスケジュール

項目	担当機関	総合雨水対策計画	
		前期5年	後期5年
排水機場の管理体制強化	産業部、農産部農林事務所	詳細検討中	→
農業用施設の能力検証	産業部、農産部農林事務所	詳細検討中	→
農業用水の維持管理	産業部	適宜実施	→
排水路の維持管理	土木部	適宜実施	→
排水路・側溝の改良	土木部	適宜実施	→
公園・校庭貯留の促進	土木部、学校教育部、都市整備部	詳細検討中	→
開発許可制度の運用の見直し	都市整備部	見直し準備検討	新基準運用
水害ハザードマップの周知・活用	危機管理監	周知・活用	→
河川カメラ・水位計の情報提供	土木部、上下水道部	情報提供	→
土のうステーションの設置	土木部	設置	運用開始
馬込川・芳川の改修	浜松土木事務所	→	詳細検討中

⑪ 狛川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積 : 9.15km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 東区と浜北区にまたがり、エリアの中央を北から南へ準用河川狛川が流れ、二級河川馬込川へ合流している。
- 遠州鉄道のさぎの宮駅付近は局所的に地盤が低く、窪地地形となっている。
- 農地が多い地域であるが、国道152号線沿いに商業施設が立ち並び、エリアの宅地化も進展している。
- 主要な交通網として国道152号や二俣街道(有玉南積志線)、また遠州鉄道が通っており、駅も複数立地している。



【排水施設の整備状況】

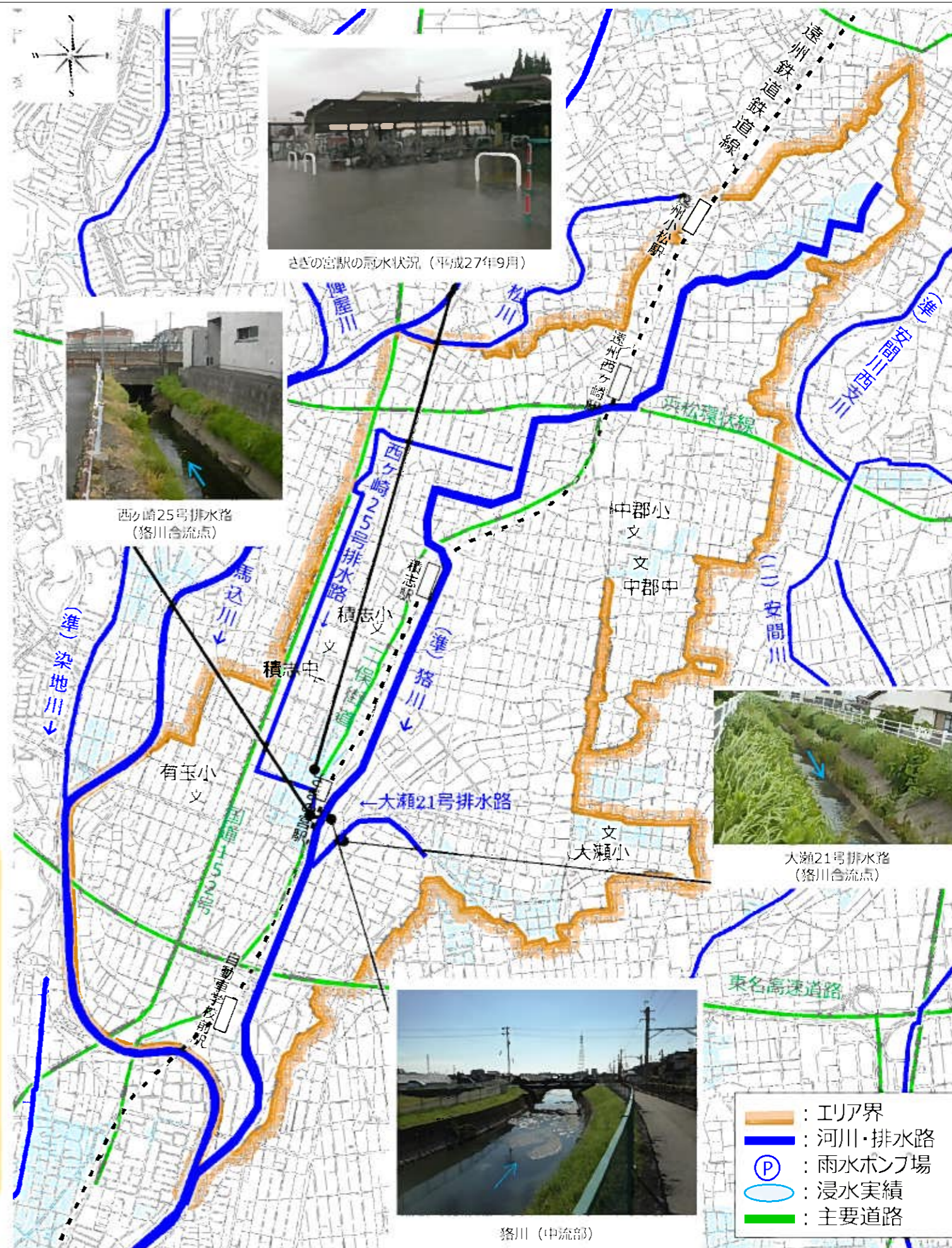
- 狛川は過去、農業用排水路として整備し、現在は準用河川として管理している。
- 狛川中流部(積志町～西ヶ崎町付近)は、静岡県により排水改良工事を行われている。
- 主要な排水路として、西ヶ崎25号排水路・大瀬21号排水路がある。
- 過去に整備された農業用排水路が、主要な排水路になっているが、用排水路となっている水路もある。

【浸水被害】

- 平成27年9月豪雨では、「さぎの宮駅」周辺で、内水氾濫による道路冠水が発生し、駅利用者に影響が生じたほか、小池町や大瀬町でも道路通行止め等の交通障害が発生した。

浸水原因

- 馬込川や狛川は流下能力が不足しており、降雨時に水位が上昇しやすい。
- 狛川に接続する排水路は、狛川の水位が上昇すると自然排水が難しい。
- さぎの宮駅付近は地形的に窪地になっており、水が溜まりやすい。
- 用排水路では、降雨時にも用水が貯められていると雨水を適切に排水できない場合がある。
- 近年、宅地化の進展により、エリア内の保水力が低下し、雨水の流出量が増加している。



<対策目標> 年超過確率 1 / 3年規模の降雨（時間雨量50mm）に対し、浸水被害を軽減する

<猪川エリアの対策>

水を流す	排水ポンプ設置、農業用堰の自動化、準用河川及び排水路の維持管理、排水路・側溝の改良、馬込川の改修
水を貯める	公園・校庭貯留の促進、開発許可制度の見直し
川を知る	水害ハザードマップの周知・活用、河川カメラ・水位計の情報提供

排水ポンプ設置（市・土木部）

西ヶ崎25号排水路から猪川への合流部にポンプ設置し、猪川の水位が高い状態でも強制排水します。



農業用堰の自動化（市・産業部）

洪水時に速やかに排水できるよう、自動で転倒する堰を設置しました。

河川カメラ・水位計の情報提供（市・土木部）

ホームページ上でリアルタイムの情報（河川水位、雨量等）提供を行います。

浜松市土木防災情報システム

開発許可制度の見直し（市・都市整備部）

郊外地における保全と開発のあり方について検討し、必要に応じて区域・用途等基準の見直しを行います。

公園・校庭貯留の促進（市・土木部、学校教育部、都市整備部）

公園や小・中学校の施設更新に合わせて、校庭等に雨水を貯留し、川へ流れ込む水の量を減らします。
※対策箇所は検討中

水害ハザードマップの周知・活用（市・危機管理監、土木部、上下水道部）

浸水が想定される区域などの情報を提供し、避難行動に繋がります。

排水路・側溝の改良（市・土木部）

排水路・側溝の部分的な排水不良を改良し、河川までの水の流れを円滑にします。

準用河川及び排水路の維持管理（市・土木部）

準用河川及び排水路の適正な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

馬込川の改修（県）

猪川が合流する馬込川を改修し、流下能力を高めます。

対策のスケジュール

項目	担当機関	総合雨水対策計画	
		前期5年	後期5年
排水ポンプの整備	土木部	実施	実施
準用河川及び排水路の維持管理	土木部	適宜実施	適宜実施
排水路・側溝の改良	土木部	適宜実施	適宜実施
公園・校庭貯留の促進	土木部、学校教育部、都市整備部	詳細検討中	詳細検討中
開発許可制度の運用の見直し	都市整備部	見直し基準検討	新基準運用
水害ハザードマップの周知・活用	危機管理監	周知・活用	周知・活用
河川カメラ・水位計の情報提供	土木部、上下水道部	情報提供	情報提供
馬込川の改修	浜松土木事務所	詳細検討中	詳細検討中

- : 河川・排水路
- P : 雨水ポンプ場
- △ : 水位観測所
- : 対策実施箇所
- : 整備済み箇所
- - - : 詳細検討中

